

裁量ペナルティガイドライン

2025

序文

この文書は、プロテスト委員会およびインターナショナルジャッジのジャッジおよび審問パネルのためのガイドです。これは、彼らが裁量ペナルティの適用を検討する際、直面する可能性のある多くの問題をスムーズかつ効率的に処理するのに支援するように設計されています。

この文書において「プロテスト委員会」という用語は、裁量ペナルティの適用を検討しているプロテスト委員会のジャッジ、プロテスト委員会の審問パネル、またはインターナショナル・ジュリーの審問パネルを指します。

さらに、2025-2028年版『セーリング競技規則』に従い、本文書では委員会のリーダーを性別に関わらず「委員長」と「副委員長」と呼称します。

プロテスト委員会はこれらのガイドラインに従うことを推奨しますが、大会のチーフジャッジが適切と判断する場合を除き、必ずしも従う必要はありません。

これらのガイドラインは、可能な限り多様な大会や状況に対応できるよう作成されています。

ただし、裁量ペナルティは単なる標準ペナルティのリストではありません。裁量ペナルティは、合理的な範囲内で一貫性を維持しつつ、正当な理由に応じて調整されるべきです。基本的な概念は、特定の規則違反に対して基準ペナルティを設定し、状況に応じてペナルティを軽減または加重することです。

この文書には、特定の規則違反または規則違反のカテゴリーに対する基準ペナルティを提案する複数の表が含まれています。これらの表は、一般的な特定の規則違反に対する基準範囲を特定しています。

ただし、検討対象の具体的な違反行為がこれらのガイドラインに列挙されていない場合、これらのガイドライン内の他の表に、そのようなケースにおける基本ペナルティを決定するために使用する一般的な質問と関連する回答が記載されています。

違反に対して複数のペナルティ範囲が示されている場合、一般質問を使用してペナルティの基準範囲を決定します。

プロテスト委員会は、基本範囲からペナルティを軽減するか加重するかを評価する必要があります。これらのガイドラインには、その評価において考慮すべき質問と回答のセットが提供されています。ただし、これらの質問と回答は普遍的に網羅的なものではありませんので、プロテスト委員会は、基本範囲からペナルティを軽減するか加重するかを決定する前に、特定の違反に該当する他の関連する調査を行う必要がある場合があります。

最後に、当事者、スコアラー、および主催者に対して裁量的なペナルティを含む結論、決定、および通知を伝える際、プロテスト委員会はこれらの通知を可能な限り明確にするよう努めるべきです。良い文章とそれに対する良い思考に代わるものではありません。私たちはプロテスト委員会が自らのケースを執筆することを奨励します。その精神に基づき、当事者、スコアラー、および主催者に対するより明確な結論、決定、および通知を執筆する際の出発点として役立つガイドラインも提供しています。

艇に対するペナルティ

一般

関連する事実を確認し、裁量ペナルティが適用される規則が違反されたと判断した場合、プロテスト委員会は適切なペナルティを決定し適用する手続きを開始します。

支援者が関与しなかった場合、ペナルティは0点からDNEまで範囲が及びます。ペナルティを決定する際、プロテスト委員会はこの文書を基準として判断します。

ペナルティバンド

ペナルティは4つのバンドに分類され、各バンドの中間点が通常の基準ペナルティとなります。

バンド	下限	上限	開始点 / 中点
1	0%	10%	5%
2	10%	30%	20%
3	30%	70%	50%
4	DSQ	DNE	DSQ

まず、以下の表を使用して、該当するバンドを特定してください。基本ペナルティは、バンドの中点を基準としてください。

「特定の違反に対する基本ペナルティバンド」表には、一般的な違反と状況が幅広く記載されています。検討中の特定の違反が含まれているか確認してください。

含まれていない場合、表「その他の違反に関する一般的な質問と基本ペナルティバンド」が、適切なバンドを選択するための指針を提供します。

両方の表において、基本ペナルティがバンドの範囲内にあると示唆される状況がいくつか存在します。このような場合、プロテスト委員会は「一般質問」、「バンド内またはバンド間でペナルティを軽減または加重させる際の考慮事項」に記載された質問、および適切と判断するその他の質問を参考に、基本ペナルティを決定することができます。

その出発点が決定された後、プロテスト委員会はそれらの質問（およびその他の質問）を使用して、バンド内でのペナルティの軽減または加重を決定することができます。

特定の違反に対する基本ペナルティのバンド

検討中の特定の違反に対して裁量的なペナルティが承認されていることを確認してください。特定の違反がリストにない場合、またはバンドの範囲が示されている場合は、一般質問および「その他の違反に対する基本ペナルティバンド」を参照してください。

カテゴリー	違反	基本ペナルティ バンド
安全	岸に留まる際にレース事務局に連絡しないこと	1
	リタイア報告の要件を満たさない場合 (通知を怠る、書類未提出、提出期限後に提出する、 サインアウトまたはサインイン未実施)	1
	• 不遵守が捜索救助の開始を招いた場合	4
	指定された係留場所にいないが、OAに通知している場合	1
	• 艇が主催者に速やかに連絡しなかった場合	2
	商業船舶の航路を避けなかった。	1-4
	レース中ではない際にPFDを長時間外す	1-2
	レース中に必要な安全装備を着用しなかった	3
行動規範	レース役員の合理的な要請に従わない場合	2-4
	提供された装備の要件に従わない、適切な取り扱いを怠る または提供された設備の機能の妨害	1-4
岸を離れる	岸に残るよう指示に従わない（例：AP信号がH信号の上にある、D旗が掲げられている）	1-4
スタート	スタートエリアを回避しなかったが、レース中の他の艇を妨げ なかった場合	1
	スタートエリアを回避しなかったことおよびRRS 23.1の違反	4
装備 インスペクショ ン	指示に従わなかった	
	• 正当な理由または説明	1
	• 正当な理由または説明がない	3
乗組員または 機器の交換	指示に従わない	
	• 正当な理由または説明	1
	• 正当な理由または根拠がない	3

カテゴリー	違反	基本 ペナルティバ ンド
	認められていない乗組員または装備品を交換する	4
識別 および広告	イベント用ステッカー（例：広告、バウNo、セイルドットなど）	
	• 指定された通りに貼付しない	2-4
	• 貼付はされたが、固定されなかった（OAIによる貼付の場合、0%）	1
	必要に応じてビブスを着用しなかった	1-2
	国旗	
	• 規定に従って貼付していない	1
	• 適用されたが、固定されなかった（OAIにより適用された場合は0%）	1
	• 適用されたが、クラス規則で定められた承認された製造業者によって製造されていない 製造業者によって製造されていない（クラス規則に従って）	1
	ポジショニング 機器 必要な機器を回収または返却しない、または機器にサイン。 インサイン・アウトしない	1
	インストールしない、またはインストール指示に従わない	3
	機器が設置されたが、その機能が妨げられた場合	4
無線 通信	無線通信、テキストメッセージ、または携帯電話のメッセージの送信または受信が 利用可能でない	3
ごみの処分	故意にゴミの投棄	4
クラス規則	セイル番号と国コード	1
	セイルの固定装置が欠落または位置がずれている	2
	セイルのセット位置が外側のバンドから外れている。	3
	製造元が供給し管理する機器の改造	3
	船体またはフォイル表面の禁止された円滑化または再仕上げ	4
	登録されていない（ただし認証済みの）機器の使用	3
	安全装備の欠如または不十分	1-
	禁止されているGPSまたはその他の電子機器の使用	4
	認証されていない機器の使用	4

補正重りの欠落または誤置

4

測定公差外れの機器（摩耗を除く）

カテゴリー	違反	
	• 船速に影響を及ぼす可能性なし	1
	• 性能に可能性はあるが、明らかな影響はない	2
	• パフォーマンスに明らかな影響がある	4

その他の違反に関する一般的な質問と基本ペナルティバンド

上記の表に特定の違反項目がない場合、または上記の表が複数のバンドを暗示する場合に使用してください。

質問	回答	基本ペナルティバンド
違反が安全性を損なう可能性はあるか？	いいえ	1
	可能性はあるが、確実ではない	2-3
	はい	4
艇は競争上の優位性を得ていないことを証明できるか？	はい、競争上の優位性は不可能である	1
	いいえ、優位性は可能ですが、確実な優位性はありません	2-3
	いいえ、確かな優位性がある。	4
注：プロテスト委員会が違反が不正行為に該当する可能性があるとは判断した場合、特に他の規則が適用できない場合は、RRS 69に基づく措置を検討すべきです。	いいえ	
	可能性はあるが、確実ではない	2-3
	はい	4
この漏洩は損害や怪我を引き起こす可能性がありますか？	いいえ	1
	可能性はあるが、確実ではない	2-3
	はい	4

バンド内またはバンド間でペナルティを軽減または強化する際の考慮事項

これらの質問への肯定的な回答は、ペナルティの軽減を意味します：

- 違反は偶然のものだったか？
- 違反に正当な理由または根拠があったか？
- 違反は他の競技者によって報告されたか？
- 艇の乗組員またはサポートチームに属さない者が違反に寄与したか？

これらの質問に対する肯定的な回答は、ペナルティの強化を招くことになります：

- 違反は繰り返されたか？
- 違反は故意によるもので、誤判断や不注意によるものではないか？
- 違反を隠蔽する試みがあったか？
- 誰かが不利益を被ったか？

プロテスト委員会は、ペナルティを軽減または加重するかどうかを判断するために、他の質問を使用する場合があります。

ペナルティの計算と適用

ペナルティを計算し適用するには：

- 裁量によるペナルティは、艇のレーススコアをリタイアまたは失格よりも悪くしてはならない。
- パーセンテージペナルティは、小数点以下第1位まで計算し、小数点以下第2位は切り上げる（0.05は切り上げ）。
- 違反がレースのパフォーマンスに影響を与えた場合、その日のすべてのレースに適用されるものとする。ただし、すべてのレースに対して抗議が有効である場合に限り。
- 違反がレースのパフォーマンスに影響を及ぼさず、特に主に管理上の問題である場合、罰則は違反が発生した時刻に最も近いレースに適用される。

判決の記載

裁量によるペナルティの適用に関する判決書または通知を作成する際は、以下の文言を含めること：

- ワールドセーリング裁量ペナルティガイドライン（ボートおよび支援者向け）に基づき、XX%のスタートペナルティが決定されました。
- ペナルティが軽減された理由は[理由を列挙し、理由の数を単に列挙しない]...または、ペナルティを軽減する正当な事情は存在しなかった。
- ペナルティが加重された理由は[理由を列挙し、理由の数を単に列挙しない]...または、ペナルティを加重する正当な事情は存在しなかった。
- ペナルティは、規則44.3(c)に記述された方法を使用して計算されたYY%の裁量ペナルティであり、[当日のすべてのレース]または[レース番号ZZ]に適用される。

支援者に対するペナルティ

一般

プロテスト委員会が審問で支援者が規則または地方の規定の要件に違反したと判断した場合、RRS 62.3およびRRS 69.2(i)は、当該支援者に対してペナルティを適用する旨を定めている。

裁量的なペナルティを決定する際、プロテスト委員会はこの文書を参考にします。

不正行為の場合、支援者および船舶に対するペナルティはRRS 69に従って決定されます。

支援者に対するペナルティのレベル

ペナルティは、以下の5つのレベルに分類されます。

レベル ペナルティ

- | | |
|---|---|
| 1 | 警告 |
| 2 | 当該者を1レース以上出航禁止とする |
| 3 | 当該者を1日以上、水上活動から排除する |
| 4 | 当該者を会場から1日以上排除する |
| 5 | 当該者をイベントの残りの期間中、会場から排除し、または規則に定める範囲内でプロテスト委員会が管轄するその他の措置を講じる。これには、規則69に基づき支援者に不適切な行為を課すことも含まれる。 |

まず、以下の表を参照して適用されるレベルを特定します。その後、ペナルティを軽減または加重する理由があるかどうかを判断します。

特定の違反に対する基本ペナルティレベル

カテゴリー	違反	基本ペナルティレベル
安全	艇内に必要な安全装備を全て搭載していない	2-4
	• 支援者が通知を受けた後、指示に従わないこと	4-5
	艇内に乗員全員分の十分なライフジャケットを搭載していない	3-5
	水上にいる間、ライフジャケットを着用しない、または乗客にライフジャケットを着用させない	
	• 初回	1-3
	• 警告を受けた後、浮いている状態または岸辺にいる場合	3-4
	水上にいる間にキルコードを着用しない	
	• 最初の違反	1-3
	• 警告を受けた後、水上または陸上において	3-5
	適切な保険に加入していない	3~5
	資格のない乗員を乗船させる	2-4
	装置、機器、浮標、標識、または同様の物品を水中に永久に放置すること	3-5
	必要に応じて表示しない	
	• 船舶、エンジン、または船体に国別識別番号を表示しないこと	2-4
	• その他の必要な支援艇の識別	3-5
	地方港湾規則への遵守不備（速度制限を含む）	
	速度制限	1-5
	不適切な行為、危険な行動、または不適切な慣行、または競技の公平性または安全性に影響を与える行動	3-5
セーリング会場および制限区域	指定された区域以外での発進または上陸の禁止。禁止区域でのトレーラーの駐車または放置	1-2
	セーリング会場に未登録の支援艇を保有している。	3-5
	制限区域外に留まらない、または制限区域内に留まらない指定区域内にとどまらないこと	3
	• レース中の艇に干渉する	3-5
	レース中の艇の近くで波を最小限に抑えなかった場合	1-3
	故意にゴミを投棄する	3-5
電子機器および通信	VHF無線、タブレット、携帯電話、またはその他の通信機器	2-5

カテゴリー	違反	基本ペナルティレベル
	VHFを使用した不適切な通信（レース関係者への妨害）	1-2
	卑猥な言葉や暴言（RC、TC、OA、プロテスト委員会または他の支援者に対するもの）	1-5
	許可なしにドローンを操作する	2-5
	技術的ドーピング：規則、規制、またはイベントの要件に違反する手法や技術を使用し、支援対象選手のパフォーマンスを向上させる目的で、情報（例：気象情報）およびハードウェア（例：ボート）	2-5
その他の事象	その他の要件への不遵守	1-4
	レース役員からの合理的な要請に従わなかった場合	1-5

ペナルティの軽減または加重に関する考慮事項

RRS 62.3 に基づき、プロテスト委員会は支援者が規則違反を犯した場合の適切な罰則を決定する広範な裁量権を有しています。以下の質問への回答は、ペナルティを軽減または加重する理由があるかどうかを判断する際に役立ちます。プロテスト委員会は、ペナルティを軽減または加重すべきかどうかを判断するために、他の質問も使用する場合があります。

以下の質問への肯定的な回答は、ペナルティの軽減を導きます：

- 違反は偶然または回避不能なものだったか？
- 違反に正当な理由または正当化できる理由があったか？
- サポートチームに属さない者が違反に貢献したか？
- サポート担当者は、情報漏洩を認め、調査に協力したか？

これらの質問への肯定的な回答は、ペナルティの加重につながる可能性があります：

- 違反は故意によるもので、誤判断や不注意によるものではなかったか？
- 違反を隠蔽する試みはあったか？
- 誰かが不利益を被ったか？
- 支援者はさらに違反行為を犯したか？

判決の作成

裁量的なペナルティを適用する判決書または通知を作成する際は、以下の内容を必ず記載してください：

- ワールドセーリング裁量ペナルティガイドライン（艇および支援者向け）に基づき、レベルXXのスタートペナルティが決定されました。
- ペナルティが軽減された理由は[理由を列挙し、理由の数を単に列挙しない]...または、ペナルティを軽減する正当な事情は存在しなかった。
- ペナルティが加重された理由は[理由を列挙し、理由の数を単に列挙しない]...または、ペナルティを加重する正当な事情は存在しなかった。
- 支援者 [支援者の名前] にペナルティが科せられました...[ペナルティの詳細を、サポート対象の艇を含むすべての読者が理解できるように明記してください]。

さらに、プロテスト委員会は、支援者に関する決定を文言化する際にRRS 62.4を慎重に検討すべきである。この文書の「支援者が関与した艇に対するペナルティ」のセクションも参照のこと。

支援者を含んだ艇に対するペナルティ

一般

プロテスト委員会が審問で支援者が規則または地方の規定の要件に違反したと判断した場合、RRS 62.4 および RRS 69.2(i) は、特定のケースにおいて艇に対してペナルティを適用する規定を定めています。

裁量ペナルティを決定する際、プロテスト委員会はこの文書を参考にします。

不正行為の場合、支援者および船舶に対するペナルティはRRS 69に従って決定されます。

ペナルティバンド

ペナルティは4つのバンドに分類され、各バンドの midpoint が通常の基準ペナルティとなります。

バンド	下限	上限	開始点 / 中点
1	0%	10	5%
2	10	30%	20%
3	30%	70%	50%
4	DSQ	DSQ	DSQ

まず、以下の表を使用して、適用されるバンドを特定してください。基本ペナルティは、バンドの中間点とみなしてください。

RRS 62.4(a)を考慮して

質問	回答	基本 ペナル ティバ ンド
当該艇は競争上の 優位性を得ることができたか？	競争上の優位性は不可能	1
	優位性は可能ですが、 確実な優位性はありません	2-3
	はい、確実な利点	4

RRS 62.4(b)を考慮して

質問	回答	基本ペナル ティ バンド
この違反は損害や怪我を引き起こす可能性がありますか？	いいえ	1
	可能性はあるが、確実ではない	2-3
	はい	4

この違反は安全性を脅かす可能性があるか？	いいえ	1
	可能性はあるが、確実ではない	2-3
	はい	4
この違反はスポーツの評判を損なう可能性はあるか？	いいえ	1
	可能性はあるが、確実ではない	2-3
	はい	4

注：プロテスト委員会が違反が不正行為に該当する可能性があると判断した場合、特に他の規則が適用できない場合、RRS 69に基づく措置を検討すべきです。

ペナルティの軽減または加重に関する考慮事項（同一バンド内または異なるバンド間）

これらの質問への肯定的な回答は、ペナルティの軽減を意味します：

- 違反は偶然または避けられなかったものか？
- 違反に正当な理由または正当化できる根拠はあったか？
- サポートチームに所属していない人が、違反に寄与したか？
- 支援者は違反を認め、調査に協力したか？

これらの質問への肯定的な回答は、ペナルティの加重につながります：

- 違反は故意によるもので、誤判断や不注意によるものではないか？
- 違反を隠蔽する試みはあったか？
- 誰かが不都合を被ったか？
- 支援者はさらに違反行為を犯したか？

プロテスト委員会は、ペナルティの軽減または加重を判断するために、他の質問を使用することができ。

ペナルティの計算と適用

RRS 62.4に従ってボートにペナルティを適用する場合、プロテスト委員会は艇のスコアを単一のレースにおいてのみ変更できます。さらに、ペナルティは0%から失格を含む範囲内で設定されます。

ペナルティの計算と適用：

- 裁量によるペナルティは、艇のレーススコアを失格以下に悪化させてはなりません。

- パーセンテージのペナルティは、小数点以下第1位まで計算し（0.05は切り上げ）、最も近い数値に丸めます。
- ペナルティは、事故が発生した時刻に最も近い時間帯に開催されたレースに適用される。

判決の作成

裁量ペナルティを適用する判決書または通知を作成する際は、以下の文言を含めること：

- ワールドセーリング裁量ペナルティガイドライン（艇および支援者用）に基づき、XX%のスタートペナルティが適用されました。
- ペナルティが軽減された理由は[理由を列挙し、理由の数を単に列挙しない]...または、ペナルティを軽減する正当な事情は存在しなかった。
- ペナルティが加重された理由は[理由を列挙し、理由の数を単に列挙しない]...または、ペナルティを加重する正当な事情は存在しなかった。
- ペナルティはYY%の裁量ペナルティであり、規則44.3(c)に定める方法により計算され、[その日のすべてのレース] または [レース番号ZZ] に適用されます。



ワールドセーリング
オフィス401、4階3
ショートランズ
ロンドン
W6 8DA
イギリス

www.sailing.org

sport / nature / technology

公式パートナー

